

Dr.JOYの運用

入院時服薬情報提供書

1.入院時服薬情報提供書の作成

お薬手帳に入院情報連絡票のシールが貼付され、患者さんの服用薬情報を一元管理している場合、当院書式「入院時服薬情報提供書」を用いて作成を行う。当院書式「入院時服薬情報提供書」は当院HPから申し込みすることで使用できるAccessファイル『薬薬連携ツール』を使用して作成する。

書式に従い、現在服用中の薬剤とそのQRコード情報、アレルギー歴や副作用歴などの基本情報、調剤や薬剤管理に関する情報、薬剤師としての所見・提案事項等を記載し、PDFとする。

2.Dr.JOYでの送信（入院日の2日前（土日祝日を除く）までに送付）

Dr.JOYの薬薬連携「【東北大学病院】入院時服薬情報提供書」の様式を用いる。患者1人に対してメッセージ1件とし、様式の通り、当院の患者ID、入院予定日(未定でも可)を記載する。上記で作成した入院時服薬情報提供書を添付して送信する。

3. 薬剤部での確認

薬薬連携メッセージの送信ボックスで「確認しました！」がチェックされた場合、薬剤部で確認済みであることがわかる。

トレーシングレポート

1.トレーシングレポートの作成

院外処方箋に関する問い合わせ簡素化プロトコル(PBPM)に該当する場合や抗がん薬関連の情報提供など当院への連絡事項がある場合、トレーシングレポートを作成する。当院HPから申し込みすることで使用できるAccessファイル『薬薬連携ツール』を使用して作成することもできる。

書式に従い必要事項を記載し、PDFとする。

(診療科、担当医、交付年月日、当院の患者ID、患者氏名、保険薬局名・住所、担当薬剤師名、報告事項、PBPMに該当する場合→薬局毎の合意書NoとPBPM番号)

★注意点

- ・トレーシングレポートによる情報伝達は疑義照会ではないため、疑義照会は通常通り医師に電話する。
- ・直接カルテに登録するため、医師に伝わるよう記載する。特に患者背景等の記載をし、提案事項などがある場合も記載を行う。

2.Dr.JOYでの送信

Dr.JOYの薬薬連携「【東北大学病院】トレーシングレポート」の様式を用いる。患者1人に対してメッセージ1件とし、様式の通り、患者ID、診療科名、PBPM締結の有無、報告事項を記載する。上記で作成したトレーシングレポートを添付して送信する。

3. 薬剤部での確認

薬薬連携メッセージの送信ボックスで「確認しました！」がチェックされた場合、薬剤部で確認済みであることがわかる。